

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	大学院インターンシップ1(長期)		
英文授業科目名			
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期		開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	演習	単位数	4
科目区分	情報システム学研究科-情報システム学研究科-特別科目		
開講学科・専攻	情報メディアシステム学専攻 社会知能情報学専攻 情報ネットワークシステム学専攻 情報システム基盤学専攻		
担当教官名			
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
なし	なし

【講義の狙い, 目標】
<p>大学院インターンシップ1(長期)は、科学技術教育の一環として、大学が産業界の協力を得て行う実習・研修の就業体験であり、次の趣旨で行うものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究・技術開発及び生産の現場に関心を深め、創造性や自主性の育成を図る。 2. 研究・技術開発と経済性、作業と安全性とは一体不可分のものであることを体得する。 3. 研究・技術開発の実際問題に当面させ、その解決を図る技能を養う。 4. 将来、研究者や技術者として活躍するときの心構えと抱負を養う。 5. 企業等の現場において就業体験を積むことで、科学技術教育の意義と重要性を理解する。 6. 自己の職業適性や将来設計について考える機会を与え、自主的な職業選択や高い職業意識を身につける。

【内容】
<p>大学院インターンシップ1(長期)は、1.事前教育・学習、2.就業研修および3.事後教育・学習で構成される。事前、事後教育は随時行うこととする。</p> <p>1.事前教育・学習 インターンシップの意義、自らの希望する業界、企業について研究、学習をすること。これをもとに担当教員、指導教員および共同研究センターが連携して研修先企業を選定する。(公募についてはこの限りではない)また、事前の研修および研修希望先との事務手続き等もこの一環とする。ビジネスマナー等の教育は共同研究センターで随時行う。</p> <p>2.就業研修 期間は原則夏季休暇期間中とし、研修中は研修先の諸規定、監督者、指導者等に従う。研修終了時、企業・団体の研修指導者が記入、発行する「修了書」を以って就業研修が認定される。</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

3.事後教育・学習

就業研修終了後、実習内容、感想、反省などの「報告書」を作成し、所定期限内に提出するとともに、担当教員と面談し報告または発表を行なう。

【教科書，参考書】

各指導教員の指示に従うこと

【予備知識】

各指導教員の指示に従うこと

【演習】

各指導教員の指示に従うこと

【成績評価方法及び評価基準】

単位認定の基準は事前・事後の学習時間を含む研修時間総計180時間以上とする。成績は修了書、報告書および面談のうえ総合的に判断する。

【その他】

公募については、予め指導教員および担当教員に相談し、決定後は速やかに報告すること。実施時期については通常のインターンシップに準じる。